

## 地球温暖化対策計画書

### 1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	大和ハウスリアルティマネジメント株式会社		
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	東京都千代田区飯田橋2-18-2大和ハウス九段ビル		
工場等の名称	マルエイギャラリー		
工場等の所在地	名古屋市中区栄三丁目3-1		
業種	不動産業、物品賃貸業		
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店		
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)		
事業の概要	複合商業施設		
計画期間	2023年4月1日	～	2026年3月31日

### 2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

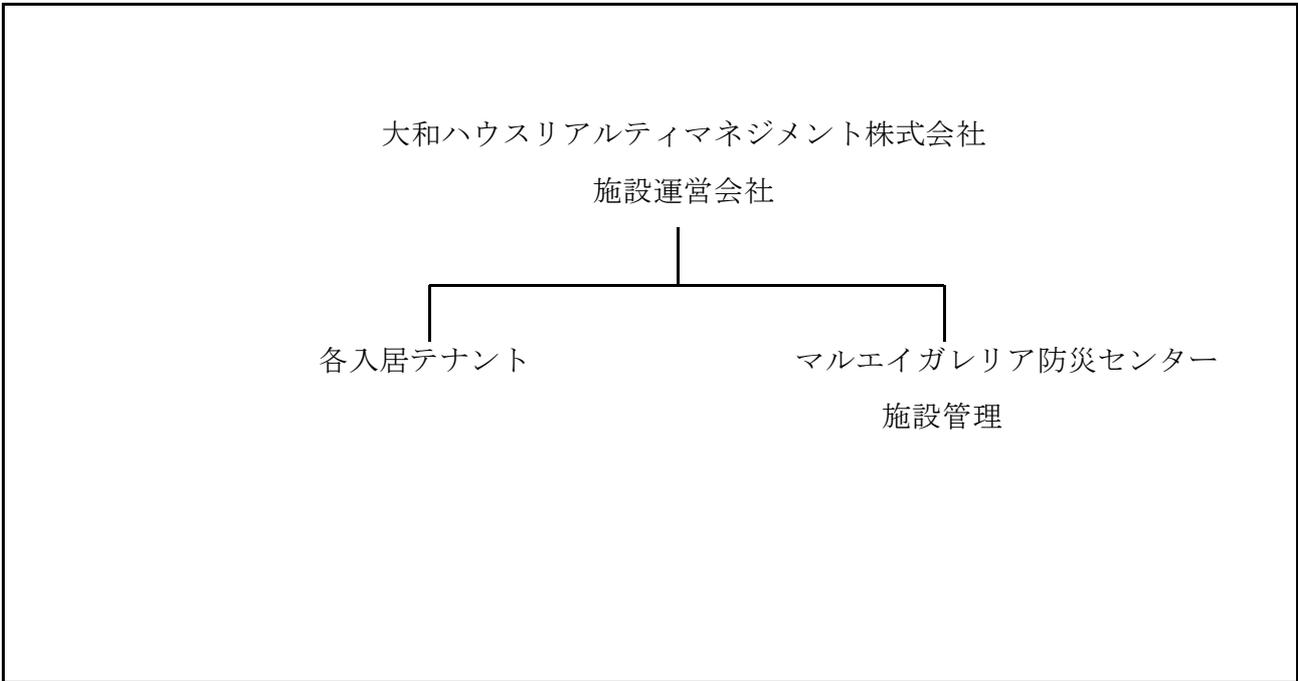
公表期間	令和5年7月31日			～	2026年3月31日
公表方法	○	掲 示 閲 覧	(場所) 名古屋市中区栄三丁目3-1		
		ホ ム ペ ー ジ	(HPアドレス)		
		冊 子	(冊子名・ 入手方法)		
		そ の 他	(その他詳細)		
公表に係る問合せ先	052-485-7747				

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

■施設エネルギー使用量の削減  
基準年（令和4年度）比で、年1.0%減を目標に省エネに努めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 4 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,281	t-CO <sub>2</sub>
① （温を除く 二酸化炭素 換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO <sub>2</sub>
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO <sub>2</sub>
	④メタン		t-CO <sub>2</sub>
	⑤一酸化二窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO <sub>2</sub>
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO <sub>2</sub>
	⑨三ふっ化窒素		t-CO <sub>2</sub>
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO <sub>2</sub>
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,281

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度 令和 4 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 7 年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	1,281	t-CO <sub>2</sub>	1,243	t-CO <sub>2</sub>	3.0

項目	基準年度 令和 4 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 7 年度 目標削減率	
	原単位あたりの 排出量		CO <sub>2</sub>		CO <sub>2</sub>	

(2) 目標設定の考え方

基準年（令和4年）はコロナ過の影響により来館者数の伸び悩みや入居テナントの空室等もあり、通年よりはエネルギー使用量が過少と予想されるが、1年に1%削減を目標に営業活動と両立して達成を目指したい。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。



指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

今年度中のRE100達成を目標として、非化石証書の購入を進める。
----------------------------------

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--